

第13回船橋市認知症シンポジウム

希望を持って自分らしく
暮らし続けられる社会へ
～認知症ご本人の思いから考えよう～



日時： 令和6年12月7日(土)
14時00分～16時30分(開場：13時30分)

場所： 船橋市勤労市民センター B2F ホール
船橋市本町4-19-6

第13回船橋市認知症シンポジウム

希望を持って自分らしく暮らし続けられる社会へ
～認知症ご本人の思いから考えよう～

14:00 開 会

総合司会	船橋市医師会	大塚 佳子 氏
挨拶	船橋市長	松戸 徹 氏
	船橋在宅医療ひまわりネットワーク代表	玉元 弘次 氏
	船橋市医師会会長	鳥海 正明 氏

14:10 第一部 基調講演

座 長	船橋市ソーシャルワーカー連絡協議会	増谷 征史 氏
		『ひと足先に認知症になったわたしからあなたへ』
講 師	おれんじドアはちおうじ代表	さとう みき 氏

15:10 休 憩

15:25 第二部 シンポジウム

司会	船橋市認知症高齢者グループホーム連絡会	山岸 大輔 氏
シンポジスト		
ちばオレンジ大使	船橋市在住の認知症当事者	
船橋市介護支援専門員協議会	高橋 信行 氏	
認知症の人と家族の会千葉県支部	乾 麻由美 氏	
千葉県若年性認知症支援コーディネーター	藤田 睦美 氏	
船橋市中部地域包括支援センター	町田 牧友美 氏	

16:25	総 括	千葉県認知症疾患医療センター千葉病院	
			小松 尚也 氏

16:30 閉 会

第一部

基調講演

さとう みきさんプロフィール

おれんじドアはちおうじ代表



東京都在住。

2019年43歳のとき、若年性型認知症との診断を受ける。

現在は夫、大学生のひとり息子と甥の4人で生活している。

診断後はデイサービスのスタッフとして勤務を経て、現在は各地の講演会、ピアサポート活動ほか、空港のユニバーサルデザイン委員会への参画や執筆活動などを行っている。

岩波書店より「認知症のわたしから、10代のあなたへ」を出版。

子供たちから子育て世代、幅広い世代に手にしていただき共感のが届いている。

第二部

シンポジウム

第13回認知症シンポジウム

希望を持って自分らしく
暮らし続けられる社会へ
～認知症ご本人の思いから考えよう～

船橋市における 認知症のサポート体制について

船橋市中部地域包括支援センター
町田 牧友美

本日の内容

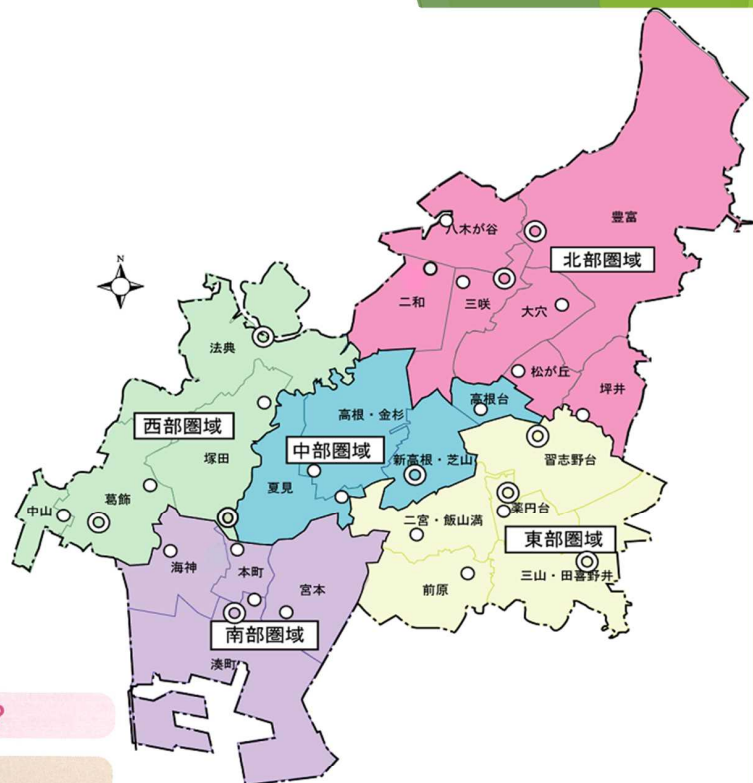
- ▶ 地域包括支援センターとは
- ▶ 初期集中支援チームとは
- ▶ 認知症カフェ（オレンジカフェ） ・
本人ミーティング とは

地域包括支援センターとは？

① 高齢者やそのご家族、地域の方々からの介護や福祉、医療、健康、認知症のことなど、様々なご相談をお受けする総合相談窓口です。



② 市内を5つの大きな圏域に分け、地域包括支援センターを14か所設置しています。また協働機関として「在宅介護支援センター」を市内15か所に設置しております。



地域包括支援センターと在宅介護支援センターって何が違うの？

地域包括支援センター

高齢者の総合相談窓口として、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの専門職がチームとなり、地域で暮らす高齢者のみなさんを支えます。



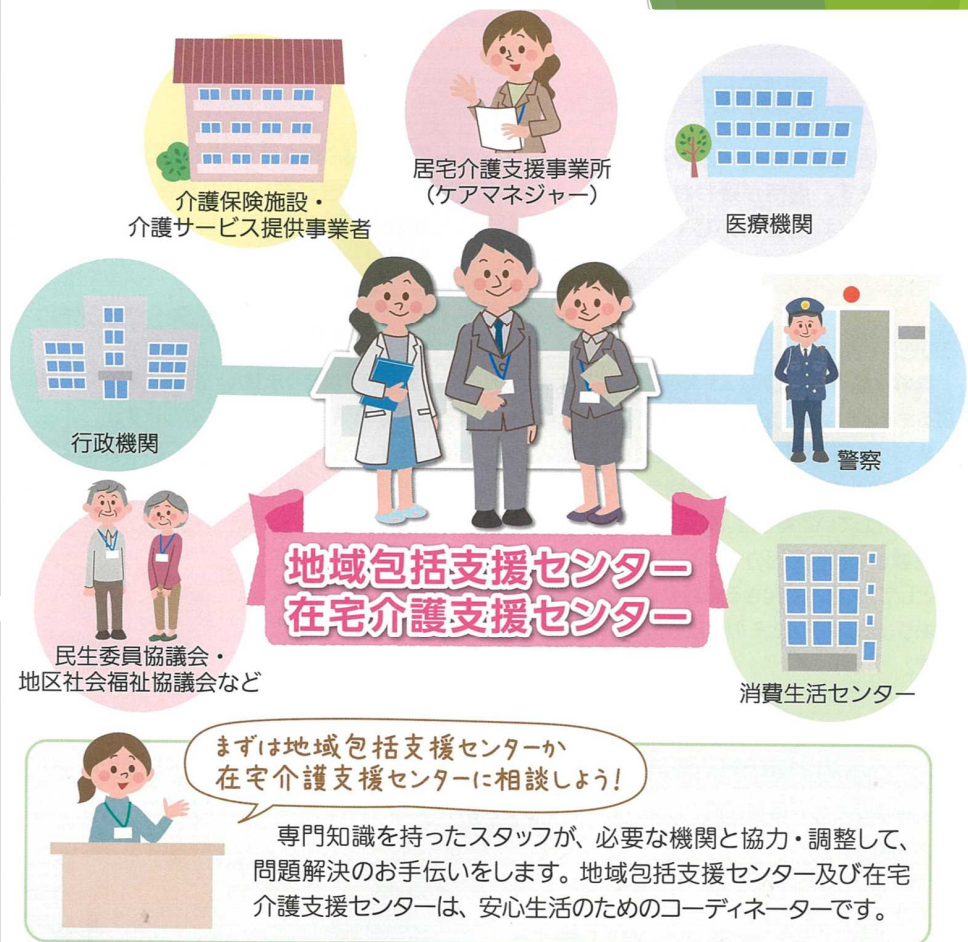
在宅介護支援センター

地域の身近な相談窓口として、地域包括支援センターと連携して、地域で暮らす高齢者のみなさんを支えます。
[地域包括支援センターの協働機関]



③市民の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域ケア会議などを通じて関係機関や地域の方々と連携しながら地域づくりを進めています。

④保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの専門職が連携し問題解決のお手伝いをいたします。



相談例

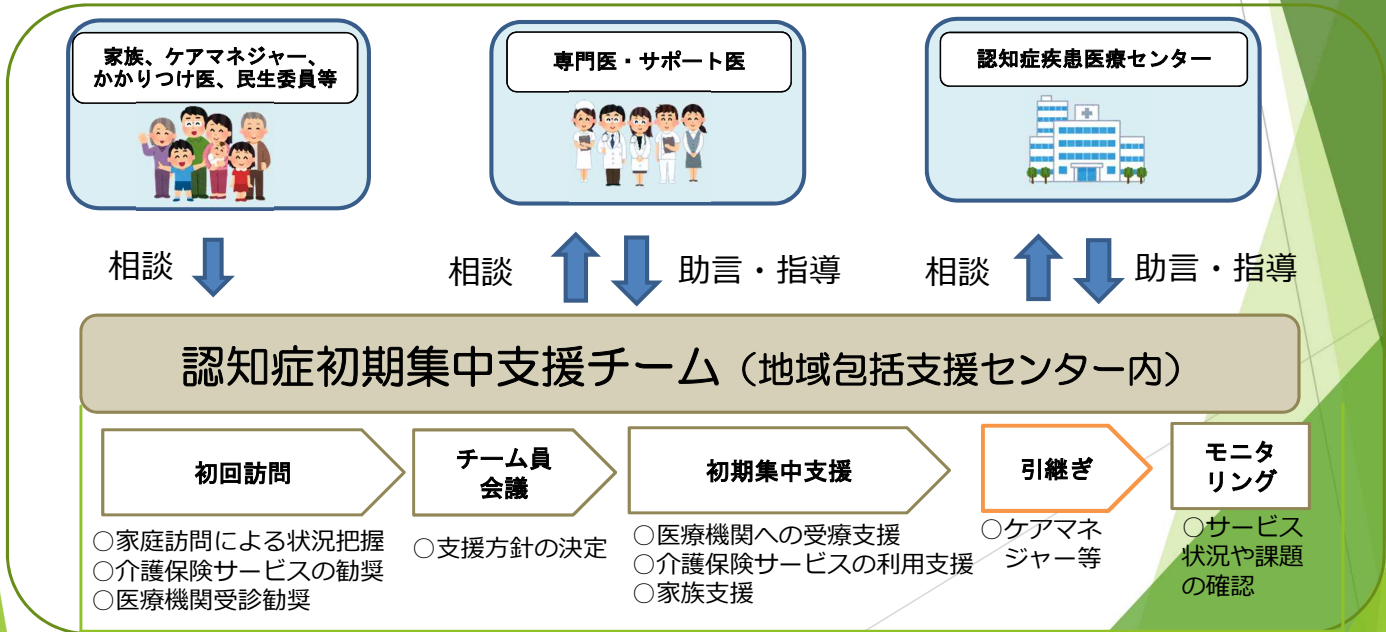
- ▶ 最近物忘れがひどくなり、相談したいがどうしたら良いかと本人から連絡。
- ▶ 息子は何とかしたいと困っているが、本人はどこも悪くないと受診拒否。
- ▶ 救急搬送を勧め、何とか受診したが内科的な問題は無く、精神科や認知症外来の受診を勧められ帰宅。
- ▶ 最近、急に立てなくなり、トイレにも行けない状態になった。受診に連れて行くにも動けないため、どうしたらよいか？ と同居の息子からの相談。

➡地区の包括支援センターに相談。状況に応じて認知症初期集中支援チームへ

認知症初期集中支援チーム

「認知症初期集中支援チーム」って…？

認知症の早期発見・早期対応のため、認知症が疑われる人や認知症の人およびそのご家族を訪問し、医師の指導の下、複数の専門職がチーム体制で連携し、初期の支援を集中的に行います。



地域資源（交流の場）



認知症カフェ（通称「オレンジカフェ」）とは

認知症の方やその家族、地域住民、専門職等の誰もが気軽に集い認知症について考える交流の場です。

- コーヒーやお茶を飲みながら、日頃の出来事を話したり
- 介護に関する相談や悩みを共有したり
- 認知症に関する知識やイベント情報を収集したり
- カフェのスタッフとして、運営のお手伝いをしたり
- 認知症の人ご本人の活躍の場になったり

オレンジカフェは様々な役割があり、地域における交流の場

市内のオレンジカフェの現状

令和6年10月現在市内の**28カ所**でオレンジカフェが開設

船橋市認知症カフェPR事業登録
 令和5年10月1日作成
 (令和5年10月～12月)
開催一覧表

オレンジカフェ

オレンジカフェとは
 認知症になってできる限り住み慣れた地域で暮らし続けたいという希望や、認知症の人やその家族、地域住民、専門職等の誰もが気軽に集い交流することができる場を、市内外で自主的に開催されています。オレンジカフェでは、お話しをしたり、認知症に関する情報や専門職がいるカフェでは相談を受けたりすることが可能です。もちろんおしゃべりの場を設けることもできます。
 ※新型コロナウイルスの影響により、開催を見合わせている場合があります。
 ※詳細は各カフェの案内をご覧ください。

中野区	船橋市	芝山地区
<p>①</p> <p>運営団体名 オレンジカフェなつみ実行委員会 カフェの名称 オレンジカフェなつみ 場所 豊洲台4-27-20 (わかば会館) 開催日 毎月第3木曜日 13:30~15:30 定員予定 10/19(木)、11/16(木)、12/21(木) 事前予約：無 料：12円</p> <p>【内容】 認知症のことが知りたい方、介護で悩んでいる方、おしゃべりやお話しをして暮らしたい方、お話し相手とつながりたい方等の場です。 クイズやゲームや認知症ケア専門士がおりますので、お気軽に参加下さい。</p> <p>【参加費】 400円</p> 	<p>②</p> <p>運営団体名 てんこ森カフェ実行委員会 カフェの名称 てんこ森カフェ 場所 豊洲台6-15-15 開催日 毎月第3木曜日 10:30~14:00 定員予定 10/27(金)、11/24(金)、12/22(金) 事前予約：無 料：10~25円</p> <p>【内容】 認知症の方を介助しているご家族を中心とした「クラスカフェ」を開催します。介護専門士が気軽に集まり、お話しをすることで、悩みや情報交換できる場づくりを構築します。 心療内科やメンタルケア士も参加します。同時にワークショップも開催します。ぜひ遊びにいらしてください。</p> <p>【参加費】 500円</p> 	

市では左図のようなオレンジカフェ一覧表を作成し、公民館や出張所、地域包括支援センターなど市内の関係機関に配架しています。また市ホームページにも公開しています。お近くのオレンジカフェにぜひお立ち寄りください。

オレンジカフェではどんなことをするの？

認知症の方、その家族、地域住民、専門職等でカフェは賑わっています。普段の出来事や悩みを参加者同士で話合う方や、専門職に介護の相談をする方もいます。

日によって様々なイベントを用意したり、介護の講座を開催したりと豊富なメニューで、常時相談が受けられる体制になっているカフェもあります。

歌を歌ったり、演奏を聴いたり、体操やレクを行うカフェもあります。参加する方が楽しめるようなプログラムをカフェ独自で考えています。

船橋市つながるミーティング（いまここカフェ共催）

～認知症の本人同士・家族同士の出会いの場～

<第1回>

令和6年2月26日（月）開催

場所：石井食品コミュニティハウス
Viridian

第1部 対談（語り手：さとう みき氏）

第2部 交流会

【参加者】

認知症当事者 2名

当事者家族4名

<第2回>

令和6年8月24日（土）開催

場所：船橋市勤労市民センター

第1部 参加者全員で交流

第2部 本人同士・家族同士に分かれて
交流

【参加者】

認知症当事者 5名

当事者家族 5名

認知症になっても、その人の思い
が尊重され、希望をもって、出来
る限り住み慣れたまちで共に暮ら
し続けることができるように…



ご清聴ありがとうございました



2024年12月7日（土）

第13回船橋市認知症シンポジウム

希望を持って自分らしく暮らし続けられる社会へ

～認知症ご本人の思いから考えよう～

「(公社)認知症の人と家族の会」の活動

公益社団法人 認知症の人と家族の会

千葉県支部 乾 麻由美

「公益社団法人 認知症の人と家族の会」とは

- 1980年 京都で結成され同年10月に千葉県支部結成
- 1992年 国際アルツハイマー病協会（ADI）に加盟
- 1994年 社団法人認可
- 2006年 「認知症の人と家族の会」に名称変更
- 2010年 公益社団法人認可
- 現在は47都道府県に支部があり、千葉県支部の会員は約400名です。

認知症になっても介護家族になっても、仲間や支援者となつながら、孤立することなく、認知症とともに生きることを理念として活動している団体です

活動の三本柱

つどい

会報

相談

千葉県支部としてのつどい（交流会）

つどい

- 支部独自のつどい（年23回）
- 行政、社協との共催
- 各機関からの依頼

行政からの委託の交流会

千葉県から9ヶ所

船橋市から6ヶ所

千葉市から6ヶ所

2023年度は合計69 回開催
のべ参加者数 744 名
(うち本人のべ参加者数 42名)



癒しの場
ピアサポートの場
情報交換の場

令和6年度 認知症の家族を支えるための家族交流会

つどい

船橋市からの委託事業（年に6回）

第1回 6月27日 西船橋出張所

第2回 7月22日 二和公民館

第3回 9月 3日 保健福祉センター

第4回 2月 6日 中央公民館

第5回 3月18日 社会福社会館

若年性認知症家族交流会

10月 3日 船橋市役所

* 認知症サポート医の先生方が助言者として参加して下さっています

本人・家族交流会

つどい

千葉県からの委託事業（年に3回）



<家族グループ>

介護者同士で語り合う場



<本人グループ>

本人の声が聞こえてきます
「外で困ったらこれを見せるんです。
皆さんが親切に助けてくれます」

会報（本部報・千葉県支部報）

会報

- 年12回 毎月発行
- 千葉県支部報は月に1700部印刷
- 会員・行政・地域に情報の提供を行っています



千葉県支部としての電話相談 （ちば認知症相談コールセンター）

相談

月・火・木・土

10:00~16:00

相談員2名で対応

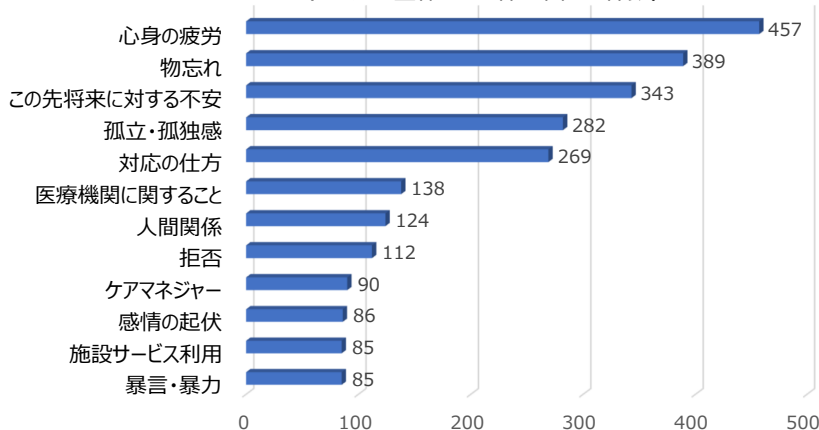
2023年度

相談件数 1387 件

うち面接相談 13 件

相談内容：上位12項目

（ベース：全体1387件、単位：件数）



「認知症基本法」が成立・施行

2023年6月、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法（通称：認知症基本法）」が成立し、2024年1月から施行されました。

私たちも認知症の人から学ぶという姿勢を忘れずに
そして、介護家族にはピアサポートの姿勢を忘れずに
活動していきたいと思っています

おわりに

「本人大使」になられた皆様に心より敬意を表します。

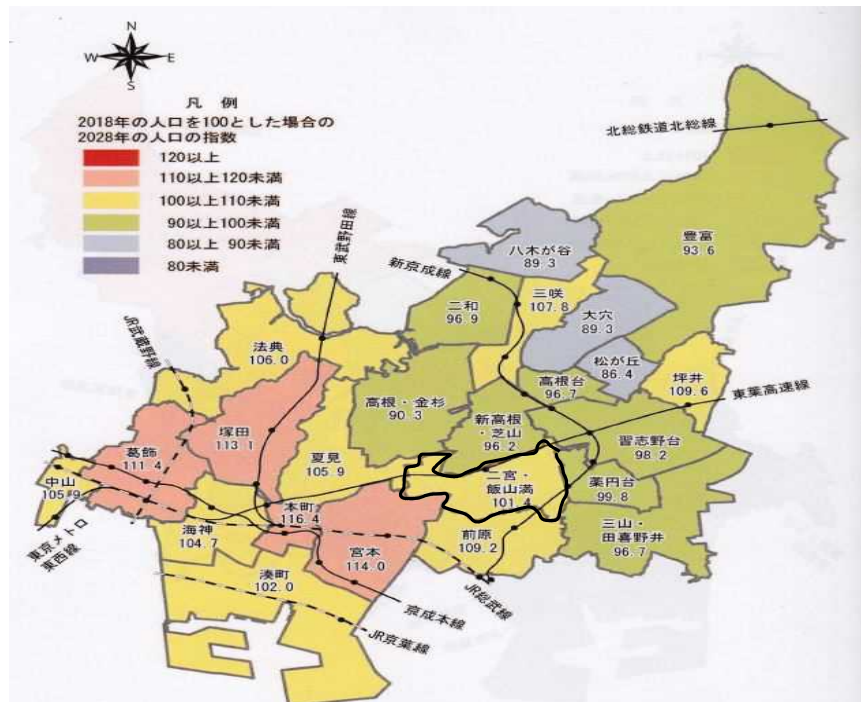
ご清聴ありがとうございました



在宅介護支援センターの役割とは

船橋市介護支援専門員協議会
理事 高橋 信行

二宮・飯山満
在宅介護支援
センターの担
当地域



二宮・飯山満 在宅介護支援 センターの 紹介

- 二宮・飯山満在宅介護支援センター
 - ・地域の身近な相談窓口
- 居宅介護支援事業所 ケアプラン飯山満
 - ・要支援認定者様と要介護認定者様のケアプラン作成

当事者との 面談まで

- 「つながるミーティング」に参加された際に、
当事者様とご家族から介護保険の申請支援の依頼を受ける（令和6年3月）
- 面談までに準備したこと
 - ⇒ 就労関連の社会資源情報の把握。
 - ⇒ 介護保険内外で利用できそうなサービス内容の把握。
(オレンジカフェカフェなどの集いの場など)
(介護保険の通所介護サービスの種類等)
- 面談後、介護保険の申請を依頼され申請代行

当事者との 関りの中で

- ご本人の望むこととは（意思決定支援）
 - ・ 自分の行く場所＝人とのつながり
 - ・ 自分の役割＝働きたい
- 学ばせていただいたこと（支援者が感じた事）
 - ・ 当事者様を知る事＝話を聞くこと、会話すること、理解すること

現状と課題 について

- 社会資源とのマッチング
 - ・ 若年性認知症の方が行ける場所の難しさ
 - ・ 地域の中の社会資源の少なさ
- 今後の方向性について
 - ・ 認知症という病気への理解＝周知の場
 - ・ 専門職は社会資源の発掘・つなげる役割＝家族支援につながる

ご清聴ありがとうございました



第13回船橋市認知症シンポジウム
希望を持って自分らしく暮らし続けられる社会へ
～認知症ご本人の思いから考えよう～

2024年12月7日

若年性認知症支援コーディネーターとは

千葉県若年性認知症支援コーディネーター
藤田 睦美

若年性認知症支援コーディネーターの役割

1. 今後のことを一緒に考える
2. 「つどい」での交流
3. 利用可能な制度のご紹介

1. 今後について一緒に考える

- 電話、面談、訪問による相談
- ご本人やご家族、勤務先、市町村や地域包括支援センターなどからの相談
- 勤務先へ訪問し働き方などの調整

➡ 終わりは笑顔で！

2

千葉県若年性認知症支援コーディネーターにご相談ください

匿名の相談でもかまいません。相談料は無料です。

電話相談のほか、面接相談や家庭訪問も行っています。ご本人やご家族だけではなく、勤務先や関係機関等からの相談にも応じます。

千葉県若年性認知症専用相談窓口

043-226-2601(月・水・金 9:00-15:00)

(千葉大学医学部附属病院認知症疾患医療センター内)

* 千葉市の方は 千葉市若年性認知症専用相談窓口へ

043-245-5267(平日9:00-16:00)

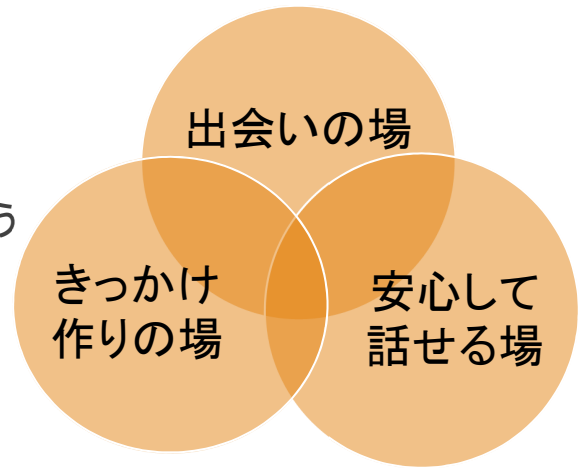
(千葉市地域包括ケア推進課内)



2.「つどい」での交流

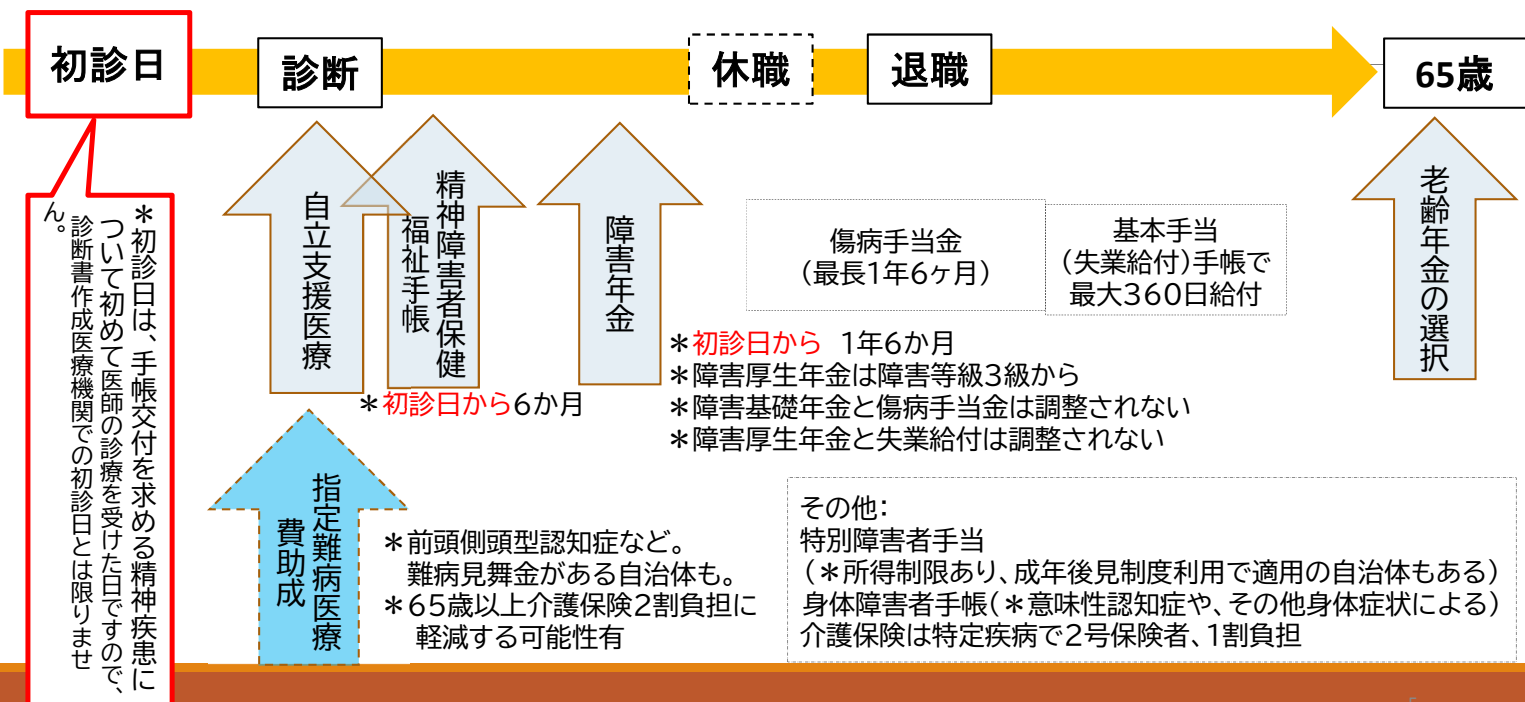
◆若年性認知症のつどい 「いまここカフェ」

- 同じ境遇にある方々が仲間同士で支え合うピアサポートの場
- 若年性認知症と診断された人やご家族が参加



4

3.利用可能な制度のご紹介



5

ご清聴ありがとうございました。



A large, empty, rounded rectangular box with an orange border, intended for writing a memo or notes.

ちばオレンジ大使とは？

▶ 認知症の人やその家族が地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会を実現するため、認知症の人本人からの発信の機会が増えるよう地域で暮らす本人とともに普及啓発に取り組む「**認知症本人大使**」を国が創設し、令和2年1月に5名任命。
各都道府県での大使設置を目標とした。

▶ 千葉県においては令和4年度より千葉県版認知症本人大使である「**ちばオレンジ大使**」を創設。
現在3名の大使が活動中。